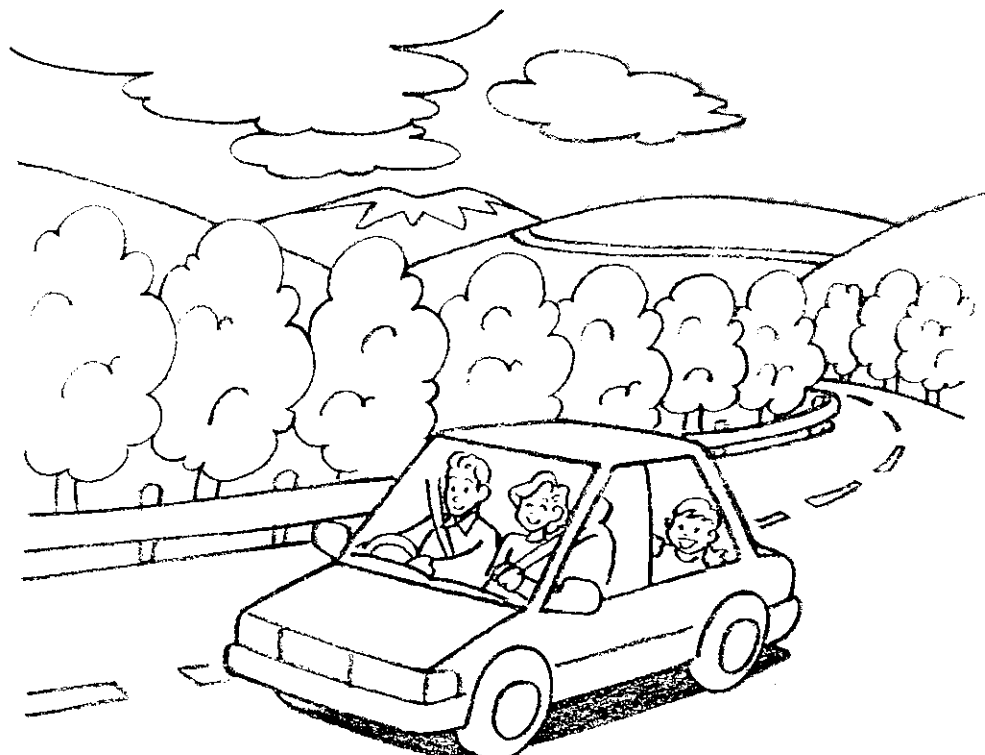


4

なるほどいいね！快適ドライブ



なるほど
インフォメーション……………88

安全・安心マインド 88
高速道路の走り方 88
雨の日もクリアな視界で 89

夏の避暑対策……………90

冬のカーライフ……………91

シーズン前の冬じたく 91

お出かけまえに 93

雪道走行 94

冬の駐車ノウハウ 96

ディーゼル車の冬の心得 97

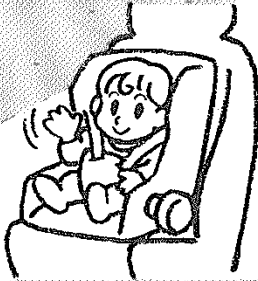
な

るほどインフォメーション

安全・安心マインド

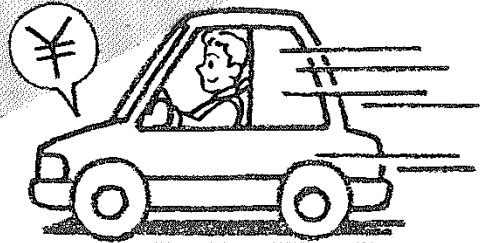
チャイルドシート、ジュニアシートが安心です。

予測できない子供の動き。専用シートにすわせると安心です。



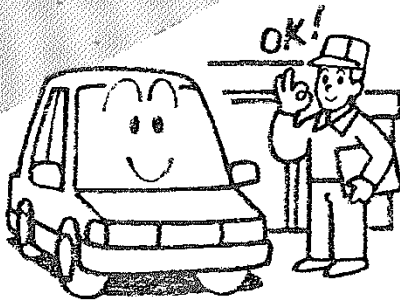
安全運転、結局お得！

不必要な高速運転は燃料のムダ使い。
車間距離をゆつたりとって、安全運転に心がけましょ
う。



キチンと整備、快適ドライブ

手入れ次第で故障も未然に防げるもの。
消耗品の補給・交換、定期点検をお忘れなく。

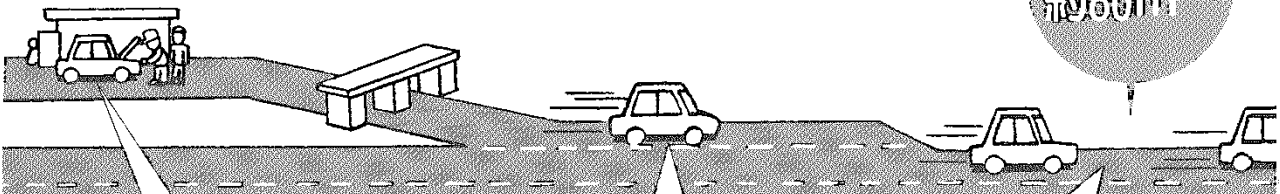


バッテリーだって疲れます。

雨天の夜の渋滞。エアコン、オーディオのフル回転で
バッテリーもバテぎみ。
こまめな節電はもちろんのこと、万一のためにプース
ターケーブルを車に積んでおくと便利です。



高速道路の走り方

80km/h
約80m

ガソリンは満タンに。

高速道路にはいる前に、タイヤの空気
圧、冷却水、オイルの量もチェックし
ましょう。

十分な加速で本線合流。



方向指示は早めに出して、十分加速し、
安全確認後、タイミングを狙ってゆる
やかに合流します。
スピードに目が慣れるまで最大限の心
くばりを。

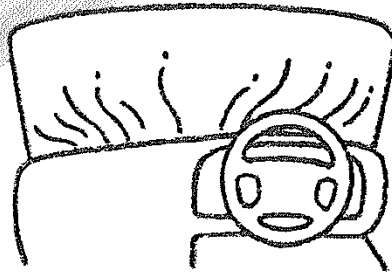
車間距離は十分に。

スピードと同じだけの距離(m)の車間
距離が必要です。80km/hで約80m。
20m間隔のレーンマークが4本、前車
との間に見えるように。

雨の日もクリアな視界で

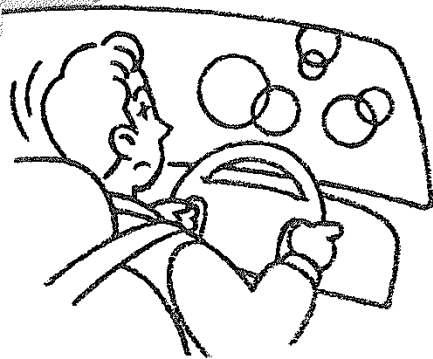
フロントガラスが曇る。

エアコンで除湿しましょう。吹き出し口を  か、 にし、内外気切り替えスイッチを外気導入にします。冬でも除湿としてエアコンを活用しましょう。



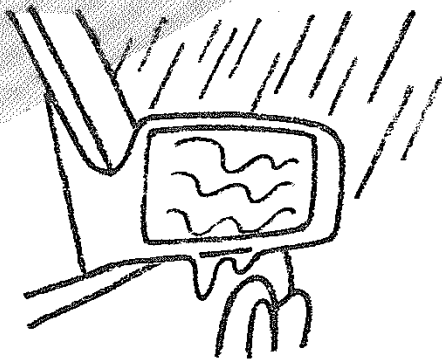
フロントガラスが油膜でギラギラ。

雨の夜は対向車のライトが乱反射。ガラスクリーナーを使ってガラスの表面だけでなくワイパーゴムもきれいにしましょう。



ミラーが水滴で見づらい。

ガラスコートをぬってあげば、雨水やはね水をはじきます。



追い越しが終われば 走行車線へ。

追い越し車線は追い越し専用です。追い越した車がインナーミラーに全部写ってからすみやかに走行車線へもどります。

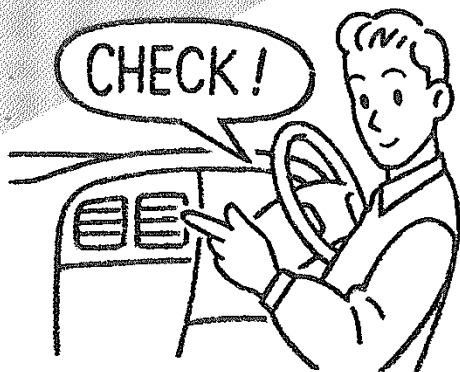
無理せず休もう。

疲れたり眠くなったら、SA(サービスエリア)、PA(パーキングエリア)でひと休み。1時間走ったら10分ぐらい、3時間走ったら30~60分ぐらいを目安に。SAは50km、PAは15kmごとにあります。

夏の避暑対策

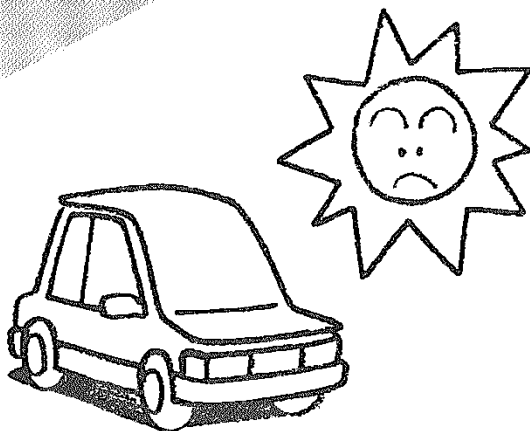
シーズン前にエアコンチェック。

暑くなる前に点検・補充をしておきましょう。



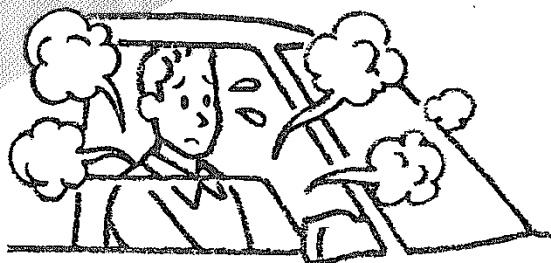
ボディーカバーでサンシャワーカット。

炎天下の駐車では室内温度は予想外。ボディーに覆いをかけたり、ハンドルやシートにタオルをかけて、室内温度の上昇をおさえましょう。



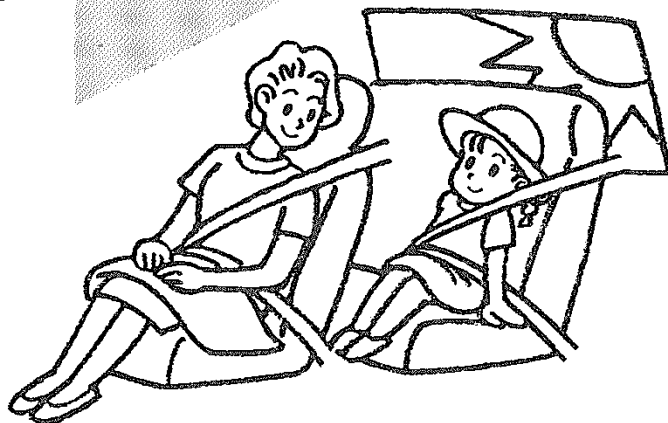
熱気を逃してエアコンスタート。

車にもどりいきなりエアコンをかけるのは考えもの。まず窓を開けて熱気を逃してからエアコンを効かせるのが効果的です。



とにかくエアコンは冷やしすぎ。

冷房に弱い方はひざ掛けを、リヤシートにすわる方には帽子を用意するのもひとつの方法です。エアコンの冷やしすぎには気をつけましょう。



冬冬のカーライフ

シーズン前の冬じたく

ウォッシャー液の
濃度50%以上

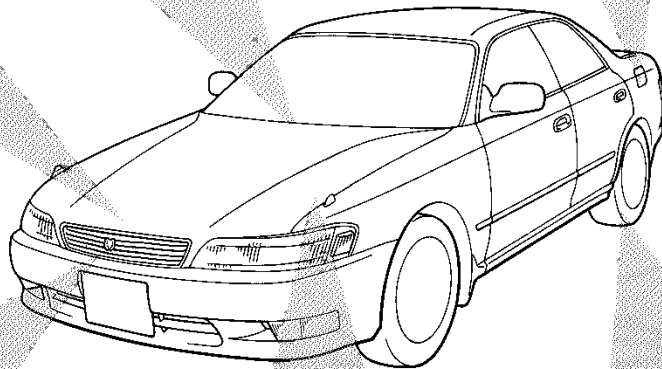
⇒データ1

●凍結防止用ワイパーの装着☆

●ワイパーの切り替え☆

(切り替え方法は次ページ参照)

トヨタ純正ウォーターカットで
燃料タンクの水分排出



冷却水の濃度

⇒トヨタ純正ロングライフクーラント50%

外気温に応じた
エンジンオイル

⇒データ2

タイヤチェーンの準備
冬用タイヤの装着

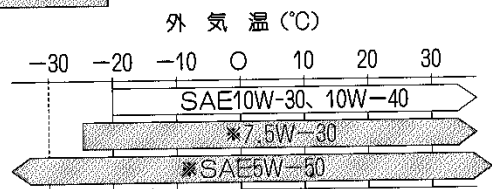
4輪とも指定サイズの
同一銘柄のものに交換

データ 1

使用地域・季節	希釈割合	凍結温度
通常	原液1に水2	-10°C
寒冷地の冬期	原液1に水1	-20°C
極寒冷地の冬期	原液のまま	-50°C以下

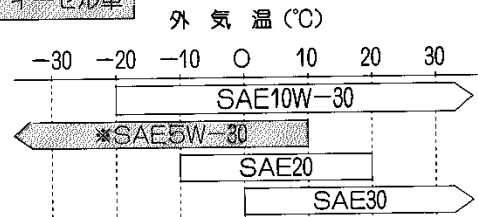
データ 2

ガソリン車



※極寒時には7.5W-30、5W-50をおすすめします。

ディーゼル車



※極寒時には5W-50をおすすめします。

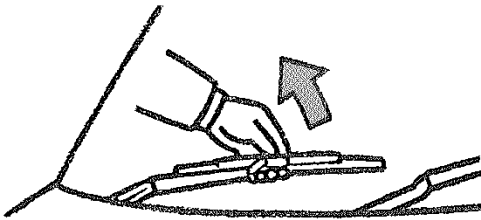
☆印はグレード等により装着の有無が異なります。

ワイパーの切り替え方☆

フロントガラスに多量の雪が積もった場合、ワイパーが上がりなくなりワイパーモーターを損傷することがあります。

次の手順でフルコンシールド式からセミコンシールド式に切り替えてください。

1 ワイパーアームのフック部を持ち、ガラス面にそって引き上げます。



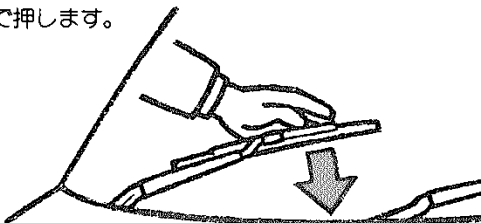
注意

ブレードだけを持って引き上げると、ブレードが変形するおそれがあります。
必ずフック部を持ってください。

アドバイス

フルコンシールドの状態でワイパー作動中、ワイパー停止位置に雪がたまと自動的にフルコンシールドからセミコンシールドに切り替わる構造になっていますが雪のたまりかたによっては切り替わらずにコツン、コツンと音がする場合があります。
音がしたらセミコンシールド式に切り換えて雪を取り除いてください。

フルコンシールド式にもどすときは、フック上部を手で押します。

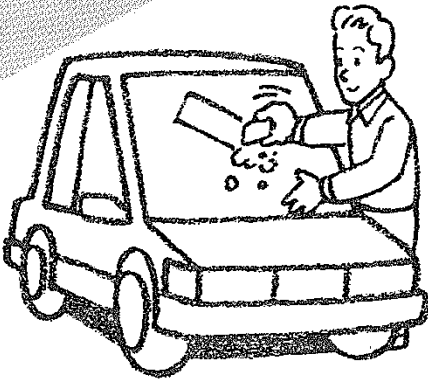


☆印はブレード等により装着の有無が異なります。

お出かけまえに

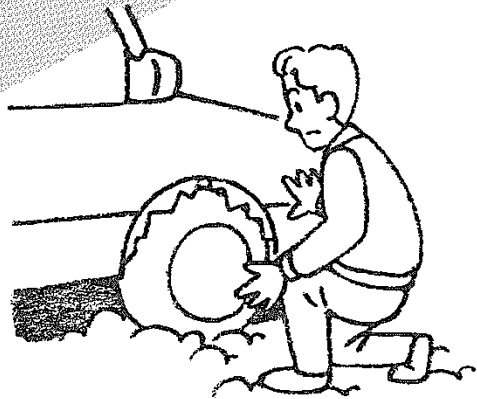
ガラスについた霜取り。

プラスチックの板を使うとガラスに傷をつけずに素早く落とすことができます。



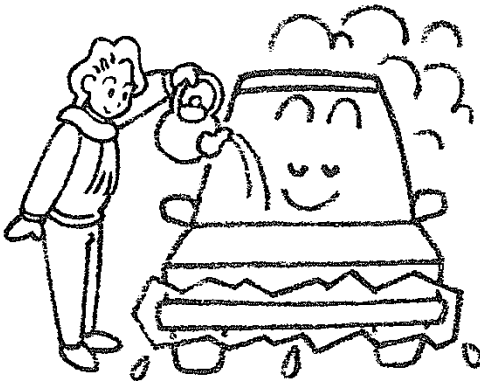
足まわりの着氷。

車の下をのぞいて、足まわりに付着した氷塊を部品に傷をつけないように取り除いてください。



車が凍ったら。

ワイパー、電動リモコンミラー、パワーウィンドウなどが凍って動かなくなることもあります。無理に動かそうとすると、装置をいためたり、バッテリーあがりをおこすおそれがあります。またドアが凍結したときは無理に開けようとすると、ドアまわりのゴムがはがれたり、き裂するおそれがあります。そんなときはお湯をかけて氷を溶かしてください。なお、すぐに水分を十分ふき取ってください。



ペダル操作時のすべり防止。

乗車時、靴についた雪をよく落としてください。

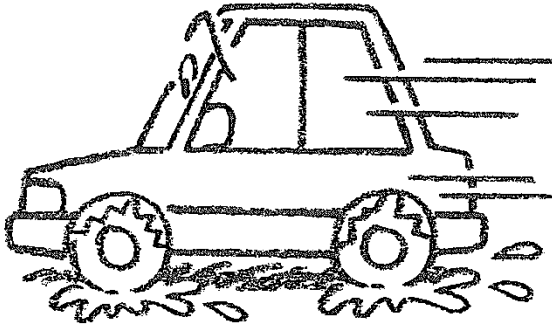


雪道走行

着氷のいたずら。

走行中にはね上げた水は、車に付着して氷になります。フエンダー裏側に付着するとハンドル操作に影響しますのでときどき確認し、大きくなる前に取り除きましょう。

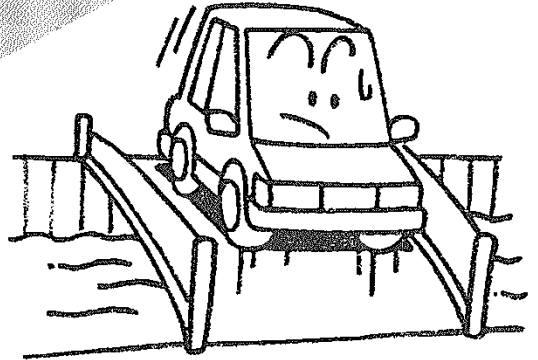
ブレーキ装置に付着するとブレーキの効きが悪くなる場合がありますので、ときどき軽くブレーキペダルを踏んでブレーキの効き具合を確認しましょう。



スリップにご用心。

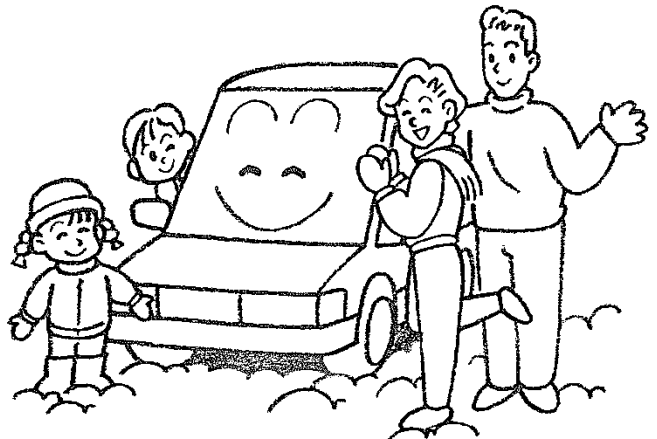
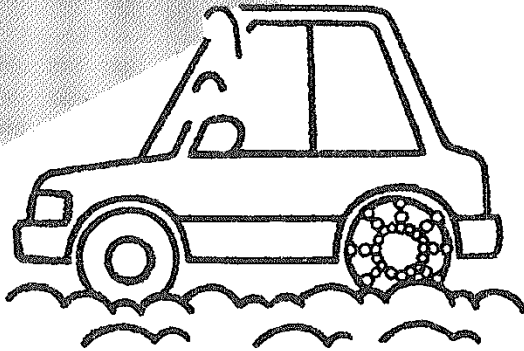
ゆっくりスタート、ひかえめな速度で走行中も“急”のつく動作は厳禁です。

橋の上や日陰など凍結しやすい場所では減速を心掛けましょう。



タイヤチェーン、冬用タイヤの装着

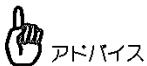
積雪路、凍結路では早めにタイヤチェーンまたは冬用タイヤを装着してください。



タイヤチェーンの取り付け方

- タイヤチェーンは後2輪に取り付けます。
- タイヤチェーンはタイヤサイズにあったものを使用してください。

195/65R15 91Hタイヤを装着されているかたは、必ずマークII専用のトヨタ純正品を使用してください。トヨタ純正品以外のチェーンを使用すると車体側に当たり走行に悪影響をおよぼします。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。



アドバイス

- スチールホイールはホイールキャップをはずしてから、タイヤチェーンを取り付けてください。
- アルミホイールにタイヤチェーンを取り付けると、ホイールに傷がつくおそれがあります。

チェーンを取りつけるまえに

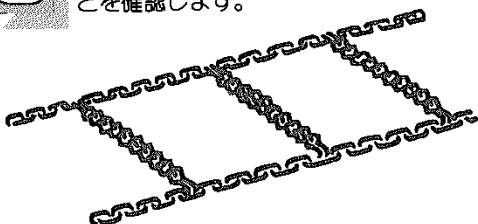
- ①安全に作業できる平らな場所に移動します。
 - パーキングブレーキをかけエンジンを止めます。
 - 非常点滅灯を点滅させ、停止表示板(または停止表示灯)を使用します。
- ②輪止め、ジャッキ、ジャッキハンドル、タイヤチェーンを取り出します。

1 チェーンを取りつける後輪と対角の位置にある前輪の前側に輪止めをします。

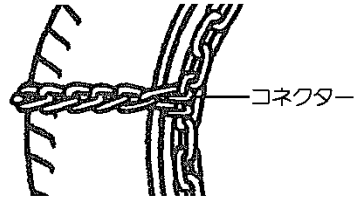
2 チェーンを取りつける後輪をジャッキアップします。

⇒102ページ参照

3 チェーンを路面にひろげて、ねじれがないことを確認します。

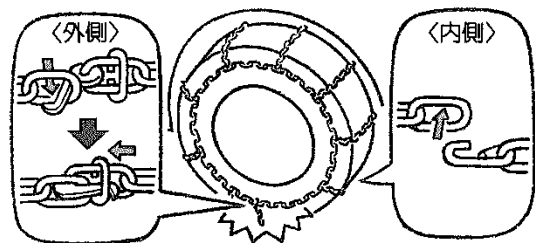


4 コネクターの折り曲げが外側を向くようにタイヤにかぶせます。



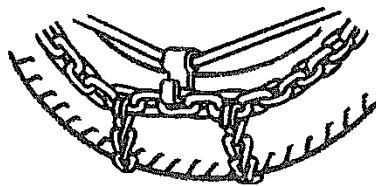
5 チェーンの両端をいっぱいにつ引っ張り、内側から先に連結します。

- チェーンが内側、外側のどちらか一方に片寄っていないか確かめ、外側のチェーンもいっぱいにつ引っ張り連結します。



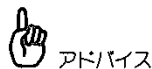
6 余ったチェーンは車体に当たるのを防ぐため針金で固定します。

7 チェーンバンドはクリップの爪が外側を向くように均等にチェーンにかけます。



8 ジャッキをおろし、輪止めをはずします。

9 2~3分走行し、チェーンのゆるみ、はずれがないか確認します。



アドバイス

チェーンを取りはずすときは外側からはずしてください。

注意

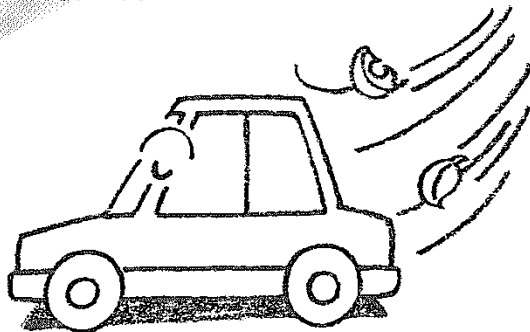
30km/h以下で走行してください。

冬の駐車ノウハウ

風下に向けて冷え込み対策。

風にあたる部分は、予想以上に低温となります。バッテリーあがりを防ぐためにもボンネット側を風下に向けて駐車しましょう。

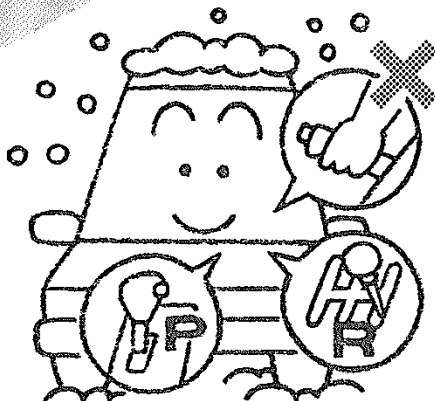
ラジエター前面にカバーをつけるとエンジンの冷えすぎを防げます。



パーキングブレーキはかけちゃダメ。

寒冷時はパーキングブレーキをかけるとブレーキ装置が凍結するおそれがあります。

チェンジレバーをオートマチック車は①、マニュアル車は②または③にいれておきましょう。

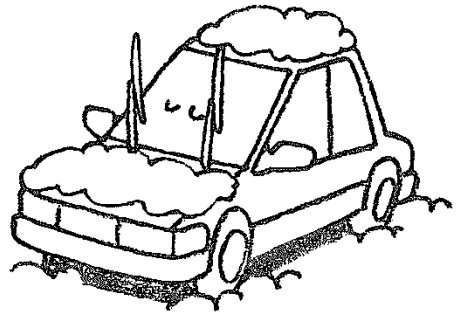


ワイパーアームは立てて安心。

寒冷地仕様車、スノーバージョン仕様車は、ワイパーを立てることが出来ます。

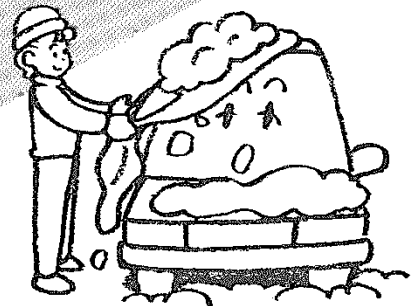
降雪時は寒さでワイパーゴムがガラスに凍りついたりしますので、ワイパーアームを立てて駐車すると便利です。

ワイパーアームを立てるときは必ずセミコン式に切り替えてください。



ウインドウマスクは強い味方。

早朝のお出かけでも、フロントガラスの霜を取るわずらわしさがありません。



ディーゼル車の冬の心得

ディーゼル車の燃料

軽油は外気温が -10°C 以下になると凍結し、燃料配管の詰まりなどの不具合原因となります。

寒冷地へ行くときは、現地へ着くまでに残量を半分(燃料計目盛りの1/2以下)にしておき、現地に着いたら下表にしたがってできるだけ早く寒冷地用燃料を補給してください。



注意

フェリーを利用して寒冷地へ行くときは、乗船前に燃料を半分にしておき、現地に着いたら寒冷地用燃料を補給してください。

使用限界温度	使用燃料		
	JIS2号 軽油	JIS3号 軽油	JIS特3号 軽油
-10°C	○	—	—
* -14.5°C	○	○	—
-19°C	—	○	—
* -22°C	—	○	○
-25°C	—	—	○

※は、それぞれの燃料を同じ割合に混合した場合を示します。

